

## 令和2年度一般会計補正予算（第11号）最終専決の概要

県税の増収や地方交付税の確定等により歳入を補正するとともに、退職者の確定に伴う退職手当等の減額を行います。

これらにより生じた財源は、新型コロナウイルス感染症等に対する緊急的な財政需要や県有施設の計画的保全に備え、おおいた元気創出基金及び県有施設整備等基金に積み立てるほか、県債残高の抑制を図るため、交付税措置のない県債の発行抑制を行います。

【最終専決額】	△	81百万円
累計	790,059百万円	(対前年度最終+29.1%)
※①最終予算額	611,808百万円	

### 【歳入】

○県税	960百万円
○地方交付税	551百万円
○地方譲与税	△176百万円
○県債	△1,377百万円
○その他歳入	△39百万円

### 【歳出】

○退職手当等	△1,426百万円
（うち退職手当）	△1,320百万円
○おおいた元気創出基金積立金	1,400百万円
○県有施設整備等基金積立金	1,400百万円
○予備費等	△1,455百万円

### 【財政調整用基金残高】

令和2年度末見込み： 299億円(対行財政改革推進計画目標 △31億円)

### 【県債残高】

令和2年度末見込み： 1兆799億円

臨時財政対策債等除き： 6,254億円(対行財政改革推進計画目標 △246億円)